

空手道

- 1 主 催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後 援 長崎県 (公財)長崎県スポーツ協会 佐世保市 佐世保市市教育委員会
(一社)長崎県空手道連盟
- 3 主 管 長崎県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期 日 令和8年6月6日(土)・6月7日(日)
6日(土)個人形(男・女) 10時30分 個人組手(男・女)
7日(日)団体組手(男・女) 10時00分 個人組手(男・女) 準決勝・決勝
- 5 会 場 長崎県立武道館
- 6 参加資格 大会実施要領による。
- 7 参加申込 大会実施要領による。
- 8 競技方法 (1)大会実施要領による。
(2)団体組手・・・参加校数が5チーム以下の場合、リーグ方式とする。
参加校数が6チーム以上の場合、トーナメント方式とする。
(3)個人組手・・・トーナメント方式とする。
個人形・・・①トーナメント方式とし、勝敗はフラッグ制とする。
②形競技の1・2回戦は指定形とし、同じ形を繰り返し演武してもよい。
③形競技の準決勝戦は、1・2回戦までに演武した形以外の競技形とする。
④形競技の決勝戦は、準決勝までに演武した形以外の競技形とする。
⑤形は、全空連競技形リスト(令和8年4月1日制定)から選択しなければならない。
(4)前年度県高等学校新人体育大会の団体組手(5人制)2位、個人組手各階級1位、個人形3位(4人)までシードとする。なお、個人組手、個人形のシード選手については、学校出場枠に含まないものとする。
- 9 参加制限 (1)団体組手 選手7名(競技は5人制)
(2)個人組手 選手4名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各8名)
(3)個人形 選手2名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各4名)
(4)各校ごとに、監督1名・コーチ1名とする。
(監督・コーチ等は、校長が認めた指導者とし、外部指導者の場合は、
傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。)
(5)外国人留学生について
団体 正選手の過半数を超えない範囲で出場を認める。
個人 参加制限はしない。
- 10 競技規則 採点方法 (1)全日本空手道連盟審判規定並びに審判規定JKFルールに準じて行う。
運用については、全国高等学校空手道連盟競技規定並びに申し合わせ事項による。
(2)採点方法は、勝率得点により順位を決定する。同点の場合は、決定戦を行う。
- 11 表 彰 大会実施要領による。
- 12 抽 選 会 大会実施要領による。
- 13 監督会議 6月6日(土)9時00分 長崎県立武道館
- 14 その他 (1)下記のとおり、男女共、全国高等学校総合体育大会および全九州高等学校体育大会への出場権を得る。

	団体組手	個人組手	個人形
全 国 大 会	1位まで 1チーム	2位まで 2名	2位まで 2名
全九州大会	2位まで 2チーム	5位まで 8名	3位まで 4名

- (2)各校監督は審判にあたることがあるので、審判員の服装(または、類似したもの)と笛を持参すること。
(3)空手道衣および安全具については、全国高体連専門部の申し合わせ事項による。
(4)空手道衣の左胸に入れる校名は、縦書で全体の大きさ7cm×15cm程度で、
文字の色は黒またはスクールカラーとする。一文字の大きさは5cm～7cm程度とする。
(5)背部に全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを縫い付けること。
(6)組手競技において選手は、ニューメンホーVI・VII(マウスシールドは任意)、正拳サポーター
ボディプロテクター、シンガード・インステップガード、セーフティカップ(男子のみ)を着用すること。
(7)競技では赤、青帯を使用すること。
(8)過度の応援は避けること。(選手およびチームにペナルティを課す場合がある。)
フラッシュを使用しての写真撮影は禁止。
(9)試合中、負傷のないように事前に十分指導すること。
(10)試合中の負傷については各校責任をもって処置すること。
(11)試合後の清掃に協力すること。